

COSCO社との提携による

日中間SEA & RAILサービスの開始について

平成18年1月18日

中国のナショナル・キャリアであり、同国最大の海運会社であるCOSCO社（中国遠洋運輸集団総公司）と提携し、日本と中国を結ぶSEA & RAIL（シー・アンド・レイル）サービスを下記により開始します。

なお、今回のサービスは中国系企業がフォワーダーとして輸送を行う初めてのケースです。

記

1. サービス開始時期

平成18年2月以降の予定

2. 輸送区間

(1) 海上輸送区間 上海港～門司港

(2) 鉄道輸送区間 北九州貨物ターミナル駅～日本国内

3. 輸送サービス

「エアーより安く、コンテナ船より早い」というコンセプトで、12フィートコンテナ（荷重5トン）を利用する小ロットで使いやすい輸送サービスです。当面は、国際海上コンテナ（20・40フィート）での輸送になります。

4. 主な輸送品目

(1) 輸入：家電製品、アパレル製品など

(2) 輸出：各種部品など

5. その他

本サービスを提供するためにCOSCOグループの子会社である「COSCON JAPAN EXPRESS」が、平成18年1月5日付で鉄道・外航海運に係る第二種貨物利用運送事業の許可を取得しました。

特に外航海運に係る第二種貨物利用運送事業の許可については、平成17年5月に中国系企業に開放されて以来、第1号の許可です。

「参考」

JRコンテナ(12ft)を活用した国際複合一貫輸送サービス一覧表

【実施中】

海上輸送区間	輸送開始日	便数	船舶キャリア	フォワーダー	取扱個数(12ft/月)	備考
釜山 ~ 下関	1971 ~	6便/週 フェリー	関釜フェリー	日本通運	200個	
馬山 ~ 下関	2002.2 ~	6便/週 コンテナ船	長錦商船(韓国:SINOKOR)	下関海陸運送	50個	長錦商船所有ラックコンテナを利用
上海 ~ 博多	2003.11 ~	2便/週 RORO船	上海スーパーエクスプレス (日本通運・商船三井・住友商事・上組)	日本通運	250 ~ 300個	
青島 ~ 下関	2003.12 ~	3便/週 フェリー	オリエントフェリー	日本通運	100個	
釜山 ~ 博多	2004.7 ~	6便/週 フェリー	カメラライン	日本通運	100個	
上海 ~ 門司	2004.10 ~	1便/週 コンテナ船	天敬海運(韓国:CK-LINE)	濃飛倉庫運輸	20個	平成14年度国土交通省実証実験認定案件 全国通運所有ラックコンテナを利用 荷主は三菱電機のみ
天津 ~ 神戸	2005.11 ~	1便/週 フェリー	チャイナエクスプレス	日本通運	1個 (トライアル分)	2005.11.4にトライアルを実施

【検討中】

海上輸送区間	輸送開始日	便数	船舶キャリア	フォワーダー	取扱個数(12ft/月)	備考
上海 ~ 門司	2006.2 ~ (見込み)	1便/週 コンテナ船	COSCO(中国)	COSCO JAPAN (全国通運)	100 ~ 150個 (見込み)	当面は、国際海上コンテナ(40ft)輸送を併用

海外の船舶キャリア

(注) 取扱個数は、昨年の12フィートコンテナ換算の月平均輸送個数